

令和元年7月29日

## 総務部会報告事項「校名・校歌・校章の選定案」について

赤崎・綾里地区学校統合推進協議会総務部会長

校名・校歌・校章案の選定案について、下記のとおり総務部会としての案を取りまとめましたので、報告します。

## 記

## 1. 総務部会開催の経緯及び協議内容

【6月3日（月）】第4回赤崎・綾里地区学校統合推進協議会

校名、校歌、校章についての原案を総務部会で作成する事になった。

【6月26日（水）】第2回総務部会

総務部会では、まず最初に平成31年3月に行われた第3回赤崎・綾里地区学校統合推進協議会の内容について確認した。協議の中で、「現在受け継がれている素晴らしい両校の文化・伝統がたくさんある。良いものは活かす。」、「今ある良いものは有効活用した方がよい。」という意見が出され、会長からは、この意見を参考にし、次年度に引き継ぐことが話されており、協議会としての正式な決定してではないものの、そうした方向性が示されているということを確認した。これを踏まえて、部会としての協議に入った。

校名案については、再度アンケートを実施する意見も出されたが、選定方法について部会に委ねられているとの意見が多かったことから、4月に実施したアンケート結果を参考にして、候補を選ぶことにした。新設統合であるので、現校名や地名を使わないことが望ましいということで、意思統一が図られたことから、これに沿って協議を行い、3案に絞った。（「大船渡市立大船渡東中学校」、「大船渡市立第二中学校」、「大船渡市立東中学校」。3案の詳細は、次項参照）

校歌、校章については、平成31年3月に行われた第3回赤崎・綾里地区学校統合推進協議会での、「現在受け継がれている両校の文化・伝統で、良いものを有効活用した方がよい。」という意見を尊重することとして案を検討した。

協議では、綾里中学校の校歌には校名が、赤崎中学校の校章には「あかさき」の文字が、それぞれ入っていることから使用することは難しい、また、赤崎中学校の校歌、綾里中学校の校章について精査した結果、それぞれ新校にふさわしい、ということで部会員の見解が一致したことから、それぞれ案とすることとした。

第3回総務部会は部会員と両地区公民館長から推薦していただいた選任者（以下「地区選任者」という。）を交えて協議する事を確認した。

【7月9日（火）】第3回総務部会

地区選任者4名のうち3名（綾里地区代表 炭釜秀一氏、古川末広氏、赤崎地区代表 三浦昌弘氏、（欠席）平子竜一氏）と総務部会員で開催した。

部会長から、第2回総務部会の協議内容について経過報告を行った後、校名、校歌、校章の順に総務部会案を検討した。

地区選任者からは、校名の3案について、「大船渡東中学校」は冠に「大船渡市立」が入ると、校名が長い。「第二中学校」は序列を表す印象がある。「東中」は適しているが、「東」は方角を示す言葉なので、両校が統合することを考慮して、何か一文字加えたらなどのご意見をいただいた。また、「東」という文字に両校が統合することの意味を加えるものとして、一文字を加えた「東朋中」という提案も出されたことから、地区選任者及び総務部会員で協議し、当初の3案に「東朋中」を加えた4案を部会案とする事を確認した。（東朋中の選定理由は次項参照）。

校歌、校章については、両校が対等統合でもあり、また良いものは受け継ぐ意味からも、赤崎中の校歌、綾里中学校の校章を案とする事で確認した。

なお、協議の過程で出た、綾里中学校の校歌の取扱いや、部会案となった校章の由来を変更することについて、附帯意見として、併せて報告することとした。

以上の協議内容をまとめ、第5回赤崎・綾里地区学校統合推進協議会で提案する事にした。

## 2. 校名・校歌・校章についての総務部会（案）

(1) 校名・・・大船渡市立大船渡東中学校、大船渡市立第二中学校、大船渡市立東中学校、大船渡市立東朋中学校のいずれかとする。

### 【大船渡市立大船渡東中学校・大船渡市立東中学校】

#### 選定理由

大船渡市の東方に位置する学校として、「東」を校名にした。高い志を持って、太平洋にのぞむ日のいずれの東から、大きく羽ばたいてほしいという願いを込めた。

### 【大船渡市立第二中学校】

#### 選定理由

大船渡市で、第二番目に統合する中学校として「第二」を校名とした。

### 【大船渡市立東朋中学校】

#### 選定理由

大船渡市の東方に位置する学校として、「東」という単語に、2つの学校が統合するということで、学友や仲間、優れているなどの意味がある「朋」という一文字を加え、朋と学びながら発展することを表した。

(2) 校歌・・・現在の赤崎中学校の校歌を使用する。

#### 選定理由

歌詞に新生日本を築く世界に誇れる人材育成の願いが込められていること、また、赤崎中学校の校歌は校名が入っていないことから、新設校の校歌としてふさわしいと判断した。

(3) 校章・・・現在の綾里中学校の校章を使用する。

#### 選定理由

綾里中学校の校章は校名を表していないこと、また、両校の伝統を残していくことを考慮し、綾里中の校章における背景の三角が、赤崎、蛸ノ浦、綾里の3つの地区を表していると捉えられることから、望ましいと判断した。

## 附帯意見

- ・綾里中学校の校歌を記録として残すことを検討してほしい。
- ・校章の由来については、変更が必要である。

由来に関する参考意見

### 【綾里中学校の校章の由来】

背景の三角は、立石山、大森山、八ヶ森を表している。その中に波を描き、さらにその中に、飛翔する白鷗をデザインしている、と言われている。



### 【新設統合後の校章の由来・意味】

背景の三角は、赤崎、蛸ノ浦、綾里の3つの地区を表しており、互いに手を取り合い、切磋琢磨する事を意味している。その中に波を描き、さらにその中に、飛翔する白鷗をデザインしている。